

1-23 各部の基本納まり図

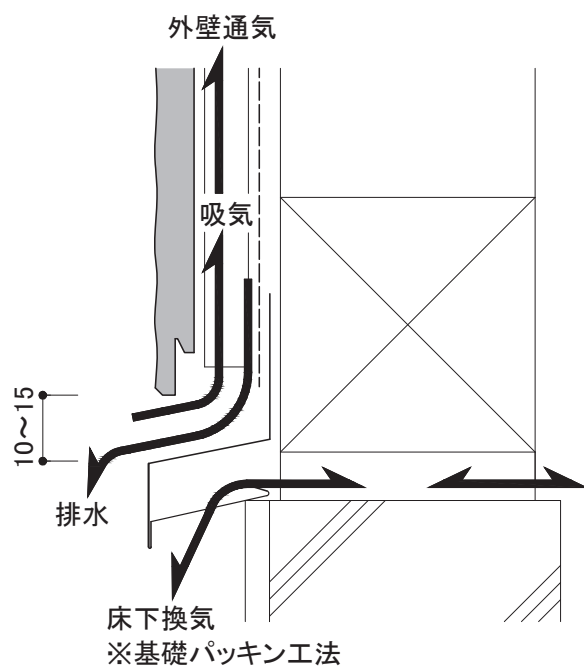
2) 土台部

①基本納まり

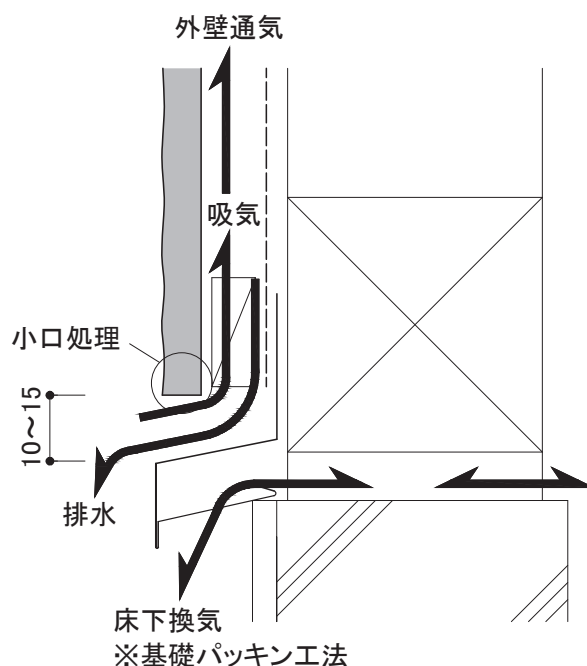
土台部は外壁通気構法の「吸気」機能、浸入水や結露水などの「排水」機能を発揮するように施工してください。

- モエン下端と土台水切の隙間は必ず10～15mm確保し、シーリングなどでふさがらないでください。
- 土台水切はモエンの目地ズレなどの不具合を防ぐため、必ず水平に取り付けます。
- 縦張りの場合などあらわしになる小口面は、モエン下端からの吸水による不具合を防ぐため補修塗装（小口処理）を行ってください。（補修塗装方法はP42～43をご参照ください。）

注意 モエン下端と土台水切の隙間をふさがらないでください。
吸気・排水ができなくなります。



横張り施工

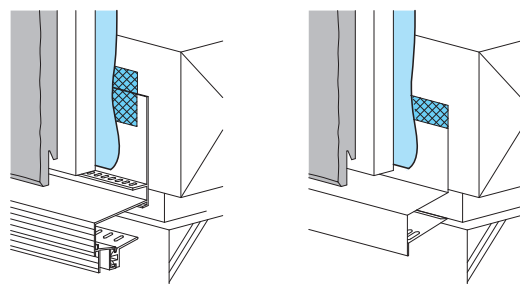


縦張り施工

②水切部材の種類

基礎パッキン工法を採用する場合には、防鼠タイプが便利です。

防鼠タイプ水切

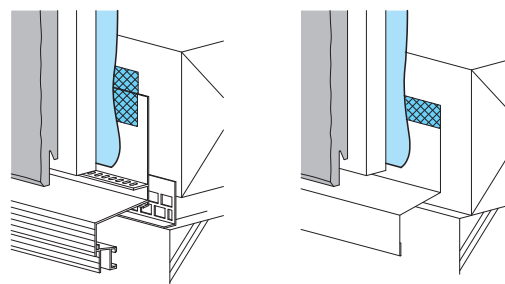


アルミ通気土台水切
＋
防鼠材

通気土台水切
(防鼠タイプ)

基礎パッキン工法

防鼠なしタイプ水切



アルミ通気土台水切
＋
防鼠アングル
(現場調達品)
基礎パッキン工法

通気土台水切

床下換気口